

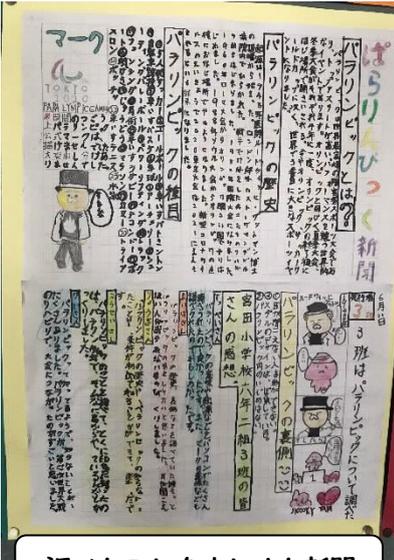
令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【長野県】

学校名【宮田村立宮田小学校】

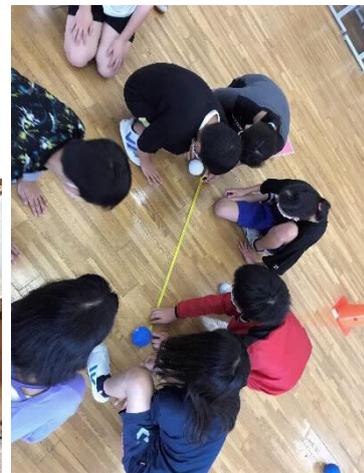
1 実践テーマ	①・Ⅱ・Ⅲ・④・⑤(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	6学年・92名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (総合的な学習の時間)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	実際にパラリンピックに携わってきた方と接したり自分たちで種目を考案する活動をしたりすることで、今自分が当たり前だと感じている世界にとらわれず、より広い視野で物事を見て、行動しようと思える態度を養うことができる。
5 取組内容	<p>【序盤】スポーツの価値やオリンピック・パラリンピックについての知識などについての学習及び、パラリンピック種目の体験。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>PCを使っ ての調べ学 習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>調べたこ とをまと めた新聞</p> </div> </div>



ゴールボール体験



ボッチャ体験



【中盤】元パラリンピアンの方による講演及び、自分たちでパラリンピック種目を考案する活動。(オリパラ教材『I'm Possible』も活用)



元パラリンピアン
前田さんの講演会

車いす生活になった経緯や、パラリンピックでメダルを獲得した時のお話。



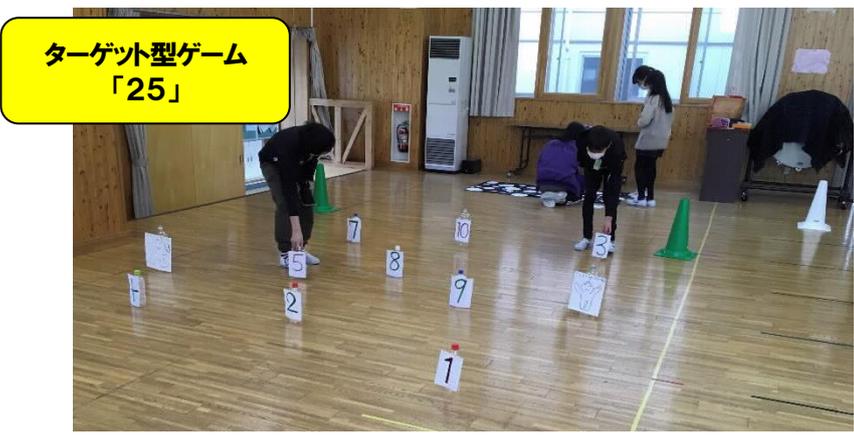
車いすバスケットボール体験

オリパラの種目考案

ターゲット型ゲーム
「ヒットボール」



ネット型ゲーム
「4V」



ターゲット型ゲーム
「25」



ターゲット型ゲーム
「シューティング見猿(みざる)」

	<p>【終盤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あすチャレジュニアアカデミー（オンライン版） 講師：馬島誠さん（辰野町在住）  <p>「ZOOM」を利用してのワークショップ。</p> <p>ご自身の夢や、子どもたちへの熱いメッセージなどを伝えていただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで考案した種目で、他学年との交流。また、学習の成果を保護者へ発表。 (交流会・学習発表会ともに2月下旬～3月上旬実施予定)
<p>6 主な成果</p>	<p>もともと体育学習には意欲的な子どもたちだったため、ゴールボールやポッチャなどを実際に体験することで、活動全体を通して意欲的に取り組むことができた。また、元パラリンピアンの方に実際にお会いしてお話を聞いたり、オピパラ教材を使用して元パラリンピアンの方の映像やメッセージを視聴することを通して、子どもたちの考え方に広がりや深まりが見えた。「きっと、一つ一つの種目が誕生したのは、障がいを抱えている人でもスポーツを楽しみ、自分を表現できる世の中になってほしいからだと思った。」という感想をもった子どもがいた。学習の感想が「楽しかった」ではなく、このような感想をもてたのは、本物に触れる活動ができたからだと感じる。その意味で、この事業に携われたことに感謝の意を表したい。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>学習を進めていく中で、クラスの子どもの親戚に元パラリンピアンの方がいることが分かった。講演をお願いしたところ、快く引き受けてくださった。県内在住の方で、住まいもそう遠くなかったため、子どもたちもより親近感をもって話を聞くことができた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>講師への謝礼に関して、金額の設定が難しいと感じた。基準は示していただいていたが、実際にお呼びするとなった時に、「この方はどの程度の謝礼をお渡しすればよいのか」という点で悩まれる学校さんもあるかを感じた。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>今年度実施したのは6年生だったため、来年度以降の継続という意味では今のところ考えていないが、活動の成果は校内で共有していきたいと考えている。</p>